

こまざわ 経済 通信

発行
駒澤大学経済学部
同窓会
〒154-8525
東京都世田谷区駒沢
1-23-1



学部長挨拶

コロナ禍における経済学部の現況

岩波 文孝(教授、企業管理論/経営管理論担当、2002年着任)

昨年度は、経済学部創立70周年を迎え、様々な記念事業に対し同窓会の皆さまには多大なご支援をいただき、御礼申し上げます。

ご存じのように新型コロナウイルス感染症が世界各国で依然として拡大しています。このような状況下での駒澤大学経済学部の教学をめぐる現況について、紙面をお借りしてご報告申し上げます。

駒澤大学2019年度卒業式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、経済学部は2019年度の卒業生735名(経済学科332名、商学科236名、現代応用経済学科167名)を社会に送り出せることができました。2020年度入学式も同様に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、経済学部には740名の新入生(経済学科352名、商学科232名、現代応用経済学科156名)を迎えることができました。

本年度は、4月上旬に開催される新入生オリエンテーションのオンデマンド配信による実施に始まり、前期授業においても、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言および行動自粛要請により、「三密」を回避するための大学への入構制限とオンラインを基本としたリモート授業が実施されました。在学生に対して、対面授業と同等(またはそれ以上)の教育効果を高めるよう慣れない環境下で経済学部教員スタッフは工夫を凝らして授業を行ってまいりました。特に1年生に対して、1年次科目「新入生セミナー」の科目担当者がクラス担任として授業内での声掛けだけでなく、不安感を感じている学生に対して相談にのるなど、学生の不安感を軽減するよう経済学部教員スタッフは対応してまいりました。

本年度後期授業は、オンラインでのリモート授業を基本としつつ、入構制限が若干緩和され、「三密」回避を前提として一部授業(40名以下の受講生の科目)では対面形式とオンライン形式のハイブリッド型授業を行うことも可能となりました。

経済学部としても、駒澤大学の方針に従って対策を取り、在学生の学生生活の基盤となる「学業」や大学での諸活動を円滑に進めることができよう教員スタッフ一同取り組んでまいります。

今後とも同窓生の皆さまとできるだけ多くの意見交換の機会を作り、同窓生の皆さまからのご意見を伺い、経済学部のさらなる発展に活かしていきたいと考えています。今後とも経済学部教学にお力添えをいただければ幸いです。

第9回総会【書面会議】開催について

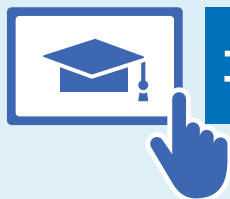
日頃より同窓会運営に際しご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして、3年に一度の総会開催を検討してまいりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮して、安全面、危機管理の観点から、第9回総会は、書面決議を持って総会とさせていただきます。

つきましては、4~5ページに掲載されている総会議案書をご確認いただき、その承認の可否を11月30日までに返信はがきにてお知らせいただくと幸いです。

何卒ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。

経済学部同窓会長 大場やすのぶ



コロナ禍における大学の状況とオンライン授業の様子

松本典子（教授、非営利組織論担当、2007年着任）

1. 新型コロナ感染拡大と卒業式・入学式の中止

例年通り、駒澤大学は、1月に定期試験、2月に一般入試を終えました。しかし、2月中旬を過ぎたころ、新型コロナウイルスに関する情報が入るようになりました。2月末の大学院入試や3月7日の一般入試は例年通り無事に実施することができましたが、3月10日になると、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、3月23日・24日に開催予定だった卒業式の式典中止が決定され、学位記のみが配布されることになりました。3月12日になると、4月8日に開催予定だった入学式も中止が決定し、2020年度の授業開始日も4月24日へと2週間繰り下げられることが決まりました。

学位記の配布当日に式典はなかったものの、大学敷地内かつ校舎外で教員と卒業生が写真撮影を行う機会が得られ、卒業生の晴れやかな姿と笑顔をみることができました。卒業前に全員で会えたこと、そして、私が担当していたゼミの卒業生に関しては内定取り消しがなかったということは救いでした。

2. 2020年度前期の授業の様子

その後、4月になっても新型コロナの感染拡大は収束する気配はなく、4月3日には、駒大でも前期の授業開始日を大型連休明けの5月8日へ繰り下げるといった判断が行われました。毎年4月2日ごろから開催される新入生向けオリエンテーションも、今年はすべて在宅でのWebオリエンテーションという形態で実施されることになりました。

4月7日になると7都府県において政府による緊急事態宣言が発出され、4月16日にその対象地域は全国にまで拡大されました。緊急事態宣言の発出も背景に、大学への入構は原則禁止されました。前期授業の実施方法は、授業開始日より当面の間、原則として、Webを利用した「オンライン授業」（以前から駒大で使用されてきた学習支援システムを使用した授業、あるいは、Googleが提供するビデオ会議の「Google Meet」を介した授業）で実施されることが決定されました。

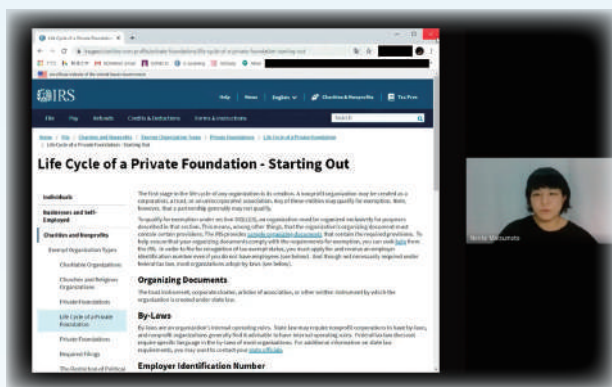
決定直後は、授業開始から数週間もすれば新型コロナが収束して、対面授業（リアル授業）が始まるのではないかと期待もありました。しかし、大型連休明けに新型コロナの感染拡大はいったん落ち着いてきたものの再度の緊急事態宣言の発出に備え、5月27日には前期の授業すべてがオンラインで継続されること、そして例年7月末に実施されている前期の定期試験も中止が決定され、定期試験によらない成績評価も必要となりました。



3. 授業の実施方法、私の事例

新型コロナがいつまで続くのか、いつ収束するのかという不安な気持ちを抱えたまま、4月中旬ごろからオンライン授業の準備に取り掛かりました。4月の1か月間は全国の研究者が交流するFacebookグループでさまざまな情報が飛び交いました。たとえば、他大学におけるオンライン授業の様子、課題の内容、パワーポイントでの動画の作り方、そしてデータの共有方法までさまざまでした。なかには、オンライン授業の開始を機に、YouTubeで授業動画を配信し、本人は意図せずYouTuberデビューするような教員もいました。

駒大のオンライン授業の方法は、①資料配信、②オンデマンド配信（事前に授業を録画していつでもみられるようにする）、③ライブ配信（リアルタイム）という3つの方法に分けることができます。私の担当する非営利組織論の場合、学生の通信環境にも配慮しつつ、全受講生にとって平等な状態を担保することができるか、授業を通して最終的にどのような目標を達成してもらえれば評価できる状態になるか、という2点を踏まえて準備しました。具体的には、学習支援システムを利用して事前にオンデマンド型で配布資料と授業動画の配信をおこない、授業当日は出欠をとると共に、授業のポイントを30分間ライブ配信しました。一方ゼミは、学生の顔がみやすいZoomを利用し毎週プレゼンなどを行っています。他方、ゲストスピーカーを呼ぶ授業では、100人の学生全員が参加する方法でライブ配信を実施しています。その授業では、以前よりも学生からの質問が増えました。オンラインのほうが質問しやすい学生がいることは意外な発見でした。



【Meetによるライブ配信の様子】



【ゼミの様子】

4. 現在の様子

6月22日から入構制限が少々緩和され、9月7日以降は事前許可がなくても条件を満たせば入構できるようになりました。後期は少人数の授業であれば事前登録によって対面実施も可能になりました。徐々に部活動も再開し始めています。新型コロナ対策を十分に行いながら、以前のような活気が少しずつ大学構内に戻ってくることを祈るばかりです。



【全学年のゼミ生が参加したプレゼン大会の様子】

総 会 議 案 書

1. 事業報告(平成29年11月20日～令和2年11月30日)

(1) 経済学部同窓会総会の開催

新型コロナウイルスの感染拡充状況を考慮して、第9回総会を令和2年11月に書面決議により実施した。

(2) 経済学部の教育に対する支援

経済学部ゼミナール連合主催の学生シンポジウムに対して後援を行うとともに、同窓会メンバーがシンポジウムに参加し、適宜コメント等を行っている。令和2年度は新型コロナウイルス感染防止のため実施しなかった。

(3) 経済学部同窓会長賞の授与

同窓会は卒業式に学業、人物ともに優れた学生を表彰し、学生の勉学意欲の向上に努めている。令和2年度(今期)も経済学科、商学科、現代応用経済学科の各3名の学生に賞状と記念品(万年筆)を授与した。

(4) 卒業生への入会案内

卒業式当日、卒業生会員に入会案内を配布し入会を勧誘した。

(5) ホームカミングデーでの活動

毎年ホームカミングデーでは同窓会のブースを置き、入会案内、同窓会報、『経済学論集』を配布している。令和2年度は新型コロナウイルスの感染防止のためホームカミングデーが中止となり実施しなかった。

(6) 「経済学部創立70周年を祝う会」の開催

経済学部同窓会は70周年の節目にあたり、全国の卒業生、経済学部教員、名誉教授が一堂に会し、親睦を深め、70年の歩みを振り返り、経済学部と同窓会の更なる発展をはかるためのイベントを開催した。そこでは、記念式典と講演(駒澤大学名誉教授 瀬戸岡紘氏による講演)、懇親パーティーが催された。

(7) 同窓会報の発行

同窓会報「こまざわ経済通信」(年2回)を発行した。

(8) 役員会の開催



役員会を毎年3～4回開催した。同窓会報の編集・発行業務、総会運営、経済学部の支援、組織の充実発展等について審議決定した。

2. 決算書

収入		支出	
前期繰越	1,759,918		
会 費	384,000	通信費	90,710
寄 付	338,000	会議費	44,860
ソフトボール大会援助戻り	41,000	広告費	0
利 息	12	印刷費	380,369
		記念品	21,072
		ソフトボール大会援助金	0
		学生シンポジウム補助	0
		消耗品費	3,674
		手数料	1,080
合 計	2,522,930	合 計	541,765
		次期繰越	1,981,165

収入		支出	
前期繰越	1,981,165		
会 費	805,000	通信費	177,592
寄 付		会議費	52,841
利 息	13	広告費	0
		印刷費	663,294
		記念品	17,496
		ソフトボール大会援助金	0
		学生シンポジウム補助	0
		消耗品費	4,898
		手数料	2,268
合 計	2,786,178	合 計	918,389
		次期繰越	1,867,789

令和2年9月30日現在 会計報告		H31.10.1 (R1.10.1) ~ R2.9.30	
収入		支出	
前期繰越	1,867,789		
会費・寄付	690,000	通信費	54,811
利息	13	会議費	26,612
懇親会費	270,000	広告費	0
派 菜	40,000	印刷費	279,004
		記念品	22,173
		ソフトボール大会援助金	0
		学生シンポジウム補助	0
		消耗品費	5,962
		手数料	1,320
		懇親会費	281,072
		謝 礼	20,000
合 計	2,867,802	合 計	690,954
		次期繰越	2,176,848

監 査 報 告 書	
駒澤大学経済学部同窓会	
会長 大場 康 宣 殿	
私監査人は、駒澤大学において平成29年10月1日より、令和2年9月30日までの各事業年度につき、提出された証拠書類並びに決算書に基づき、会計監査を実施しました。	
監査の結果、いずれも適正に示すかつ正確に処理されていると認めました。	
 平成2年10月6日 令和	
監査 三 田 佳 男 	

3. 事業計画

- ①経済学部同窓会総会の開催
- ②経済学部ゼミ対抗ソフトボール大会・スポーツ大会への支援
- ③経済学部ゼミナール連合主催の学生シンポジウムへの支援
- ④経済学部同窓会長賞の授与
- ⑤同窓会報「こまざわ経済通信」(年2回)の発行
- ⑥役員会の開催
- ⑦その他、本会の必要とする事業

4. 審議事項

(1) 新役員(案)

副会長:石塚武、 上記以外は現役員留任

なお、伊藤吉次、松下誠之は役員退任

(2) 会則改正(案)

現行内規第3条および第5条を下記のように改正し、附則を追記する。

第3条(機関)

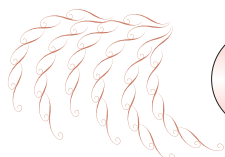
総務部会、催事広報部会、財務組織部会の3部会を設置し、3名の副会長が各部会長として統括する。

第5条(担当業務)

1. 総務部会(総会および役員会の運営、議事録作成、会員名簿の作成と管理)
2. 催事広報部会(機関紙の発行、同窓会ホームページの管理、学生シンポジウム・学生ソフトボール大会等の経済学部行事の支援、卒業生への同窓会長賞授与)
3. 財務組織部会(同窓会費および寄付金等の会計管理、大学本部同窓会および他学部同窓会との連携)

附則

この内規は令和2年12月1日から施行する。



研究室訪問シリーズ



高野 学
(教授、原価計算論
担当、2018年着任)

同窓会の皆さまには平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2018年4月に着任し、専門科目である原価計算論a・bを担当しております。

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、オンラインで授業を行っています。オンライン授業開始前は、授業が成り立つのかどうか不安であり、また例年とは異なる準備に追われました。実際にオンライン授業を行ってみますと、多少の失敗はあったものの、思った以上に授業ができるものだと実感しました。一方で、講義を受講している学生さんは、講義レジュメの管理や毎回の課題提出に加え、体力的にも精神的にも大きな負担がかかっていると思うと心配です。来年度は、対面での授業が実施できるよう願っています。

私の担当科目である原価計算論a・bでは、製造業やサービス業の製品、サービスに関わる原価の算定方法について学習します。初回の授業では、原価計算を身近に感じて欲しいため、飲食店を例に原価の構成要素を紹介しています。例えば、1000円のランチにかかる原価として、どのような種類があり、いくらかかるか学生さんに考えてもらいます。こうした例を用いながら、原価計算は日常生活にも結びついていることを感じてもらいます。その後の授業では、原価の計算方法について学んでいきますが、期の後半では「紳士服量販店でのスーツ2着目半額の仕組み」、「LCCの安価な航空運賃」などの事例を取り上げ、原価計算の視点からこれらのカラクリについて考えていきます。単に教科書的な原価計算の技法だけを学ぶのではなく、企業のビジネスモデル等を分析するための一つの道具として原価計算を学んで欲しいと思っております。

また、演習では価格設定をテーマとしています。原価計算は価格設定を行うために生まれたため、原価計算と価格設定は密接な関係にあります。しかし、価格は必ずしも原価のみによって決まるのではなく、需要と供給、競争相手の価格等の影響を受ける一方、消費者の心理状況によっても大きな影響を受けます。そこで、演習では『価格の心理学』というテキストを使い、消費者に受け入れられるような価格設定や高価でも購入してもらえる方法などについてゼミ生と一緒に考えています。

最後に私の研究対象について少し紹介させていただきます。私は、電話料金、電気料金といった公共料金の設定方法について研究しています。多くの人々が公共料金を毎月支払っていますが、その料金の設定について考えたことはあまりないかと思います。福島第一原発事故により、東京電力は巨額の損害賠償を負担することとなりましたが、この損害賠償は電気料金の中に含まれ、私たち利用者が支払っています。政府や電力会社は、利用者に気づかれないよう都合よく電気料金を設定しており、こうした問題点を指摘することも研究者の使命であると考えています。

今後ともよろしくお願い申し上げます。



経済学部同窓会長賞の受賞者

2020年3月22日に学位記の授与がおこなわれました。経済学科332名、商学科236名、現代応用経済学科167名、合計735名の卒業生が誕生しました。

経済学部同窓会は、在学中勉学に励み、人物にも優れた9名に賞状と記念品(万年筆)を授与しました。受賞の誇りと自信をもって、今後は社会人として活躍されることを期待しています。

経済学科：	吉田 宏子	秋山 清人	持田 和花
商学科：	坂入 匠	片山 洋介	鈴木 奏
現代応用経済学科：	植田 黎磨	内田 詩乃	中崎 希望

※ 本年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、賞状と記念品は、受賞者に郵送させていただきます。同窓会のみなさまの日頃のご協力に感謝いたします。

2019年度 駒澤大学経済学部学生奨学論文について

経済学部の学生の日頃の研究成果を表彰する「学生奨学論文」制度は、2019年度で第8回を迎えました。2019年度の受賞者と論文タイトルは下記の通りです。

【審査結果】 ※応募総数 6 編

1. 特選 該当なし
2. 入選(4編)
 - ①石川 拓海「戦間期アメリカ合衆国の移民政策—1924年移民法とメキシコ系移民の導入をめぐって—」
 - ②高畠 有美「『農福連携』の批判的検証」
 - ③尾形 学政・キム ユナ・井筒 弘実・山本 涼太・エブ リン「種子法廃止について・日本の食料生産に及ぼす影響」
 - ④郷 亜佳奈「駒澤大学生の恋愛～恋愛・失恋と幸福度・ストレスに関するアンケート分析～」
3. 佳作(1編)
 - ①大森 隆央・山内 凌人・木田 晃椰「キャッシュレス社会における銀行とFin Tech企業の関係」

学生シンポジウム中止のお知らせ

例年11月に開催されている学生シンポジウムは、新型コロナ感染拡大防止の観点から、本年度は中止とすることが決定いたしました。

新 著 紹 介

2019年の冬から2020年の夏にかけて、経済学部教員が下記の本の出版に携わりました。関心のあるタイトルがございましたら、ぜひお手に取っていただけますと幸いです。

①水野 祥子『エコロジーの世紀と植民地科学者』名古屋大学出版会、2019年12月。

②代田 純編著『深く学べる国際金融』法律文化社、2020年3月。

→本書では、小西 宏美教授が第5章「アメリカ金融市場」、田中 綾一教授が第2章「外国為替と国際通貨体制」を執筆しています。

③吉田 健太郎『中小企業の国際化と現地発イノベーション』同友館、2020年3月。

④長山 宗広編著『先進事例で学ぶ 地域経済論 × 中小企業論』ミネルヴァ書房、2020年4月。

→本書では、長山 宗広教授が序章・第8章・第10章・終章を、吉田 健太郎教授が第9章を、中島 章子非常勤講師が第5章を、それぞれ執筆しています。

⑤井上智洋『教養のための経済学 超ブックガイド 88』亜紀書房、2020年8月。

→本書では、北條 雅一教授が「働く人のための『雇用』の経済学」(Book10～16 解説)、増田 幹人准教授が「『人口減少・高齢化』問題の経済予想図」(Book40～46 解説)、井上 智洋准教授が「『先端技術と未来の経済』を予測する」(Book61～67 解説)、矢野 浩一教授が「『データ・統計』を用いて経済を把握する」(Book68～74 解説)を執筆しています。

訃 報

名誉教授の澁谷隆一先生が2019年12月8日(日)にご逝去されました。先生は早稲田大学大学院を卒業後、農業総合研究所を経て1966年本学に就任され、2000年3月のご退職まで34年在職されました。担当は金融論

名誉教授の光岡博美先生が2020年5月5日(火)にご逝去されました。先生は早稲田大学・東京大学大学院卒業後、1979年本学に就任され、2019年3月のご退職まで40年在職されました。担当は社会政策

同窓会事務局からのお知らせ

* 同窓会組織の強化にご協力ください

同級生、ゼミやサークルの仲間、地域のお知り合いで「経済学部同窓会」に加入していない方がおられましたらご紹介ください。未加入の方に事務局から入会案内をお送りします。

* 「こまざわ経済通信」の原稿募集

同窓会報の充実のため原稿を募集しています。積極的なご投稿をお願いいたします。

- ・ 論 題：自由
 - ・ 字 数：800字以内
 - ・ 送付先：駒澤大学経済学部同窓会事務局(下記)
- 原稿の採否は事務局にご一任ください。

* 役員を募集しています

ボランティアで同窓会の仕事をしていただける方を募集しています。

軽い仕事なのでご負担になることはありません。仲間と楽しみながら、同窓会と経済学部の発展ために貢献できます。

有志の方は事務局までご連絡ください。

* facebookの公開グループを立ち上げました

経済学部同窓会の公開グループ(<https://www.facebook.com/groups/komakei.obog/>)を立ち上げました。同窓生の情報発信や情報交換の場としてご活用ください。

経済学部同窓会事務局(経済学部事務室内)

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1

電話：03-3418-9343